



**JACTFL/SOLIFIC 主催  
シンポジウム実施要項**

**シンポジウム**

**第5回外国語教育の未来を拓く：つながり始めた多言語・複言語教育**

---

**【午前の部】**

**◆基調講演◆**

大谷 泰照

(大阪大学名誉教授)

「新時代の異言語教育の考え方—歴史の教訓に学ぶ」

**【午後の部】**

**◆分科会◆**

**「多言語・複言語教育の実現に向けて」**

小学校・中学校の部/高等学校・大学の部

**◆パネルディスカッション◆**

**「大学入試における外国語検定試験**

**(ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語)の活用をめぐる」**

日 時：2017年3月12日(日) 10:00~17:30

会 場：上智大学四谷キャンパス

<http://www.sophia.ac.jp/>

主 催：一般社団法人日本外国語教育推進機構 (JACTFL)  
上智大学国際言語情報研究所 (SOLIFIC)

## 03 実施概要

### テーマ

#### 第5回外国語教育の未来を拓く：つながり始めた多言語・複言語教育

### 開催趣旨

本シンポジウムは、さまざまな外国語教育の関係者が一堂に会し、外国語教育の未来を拓くための具体策を練り、それを実現するための機会としている。これまで多様な外国語教育の推進をめざしてきたが、言語の垣根を超えて、人・研究・実践のネットワークや連携が深まり始めている。第5回目を迎え、つながり始めた多言語・複言語教育の重要性をあらためてアピールし、更なる推進策を共有する。

### 実施体制

#### 特別協力：

一般財団法人日本私学教育研究所、公益財団法人国際文化フォーラム

#### 後援：

文部科学省、外務省、東京都教育委員会

#### 参加者：

小中高校・大学の外国語教育・国際理解教育・異文化間コミュニケーション等の教育関係者、

教育行政機関関係者、学校の管理職、メディア、企業関係者ほか 150-200 名

#### 参加費用：

JACTFL 会員/無料、一般/1000 円（資料代、会場整理費）

## プログラム

9:30～ 開場・受付

**【午前の部】** 102 教室

◆10:00～10:30

**開会・挨拶** 山崎 吉朗 (JACTFL 理事長/日本私学教育研究所)  
藤村 正之 (上智大学 学務担当副学長)  
圓入 由美 (文部科学省初等中等教育局 国際教育課 外国語教育推進室長)

◆10:30～12:15

### 基調講演

大谷 泰照 (大阪大学名誉教授)  
「新時代の異言語教育の考え方—歴史の教訓に学ぶ」

◇昼休憩 12:15～13:15

**【午後の部】**

◆13:15～15:15

### 分科会 「多言語・複言語教育の実現に向けて」

1) 小学校・中学校の部 102 教室

司会進行: 田島 久士 (東京都大田区立糎谷中学校)

「小学校外国語活動における教材内容の構造分析  
—文部科学省出版の Hi friends を対象として—」  
今井 智貴 (東洋大学大学院)

「スペイン姉妹校との国際交流を通じた 1 年間の実践報告」  
茂木 俊浩 (光塩女子学院初等科)

「文化交流を目指した英語科の実践報告 「一語一会話・輪・Wow」」  
伊藤 智子 (練馬区立貫井中学校)

「韓国・釜山の中学生との文通—真の国際交流を考える—」  
柏村 みね子 (文京区立音羽中学校)

## 2) 高等学校・大学の部 ※2 会場

### テーマ1：多言語教育推進のための制度やシステムづくり・活用 203 教室

司会進行：水口 景子（公益財団法人国際文化フォーラム）

「JET プログラム—多言語推進の取り組み—」

柏井 孝太郎（一般財団法人自治体国際化協会）

「王子総合高等学校の英語以外の外国語必修化構想」

宮嶋 淳一（東京都立王子総合高等学校）

「多言語入試への取り組み—立命館大学文学部 AO 入試国際方式に関する報告」

竹村 はるみ（立命館大学文学部）

「東海大学の「特定プログラム」制度」

惟村 宣明（東海大学国際教育センター）

### テーマ2：多言語教育推進のための教員の取り組み 202 教室

司会進行：大森 洋子（明治学院大学）

「神奈川県が多言語教育ネットワーク構築に向けて」

北川 郁子（神奈川県立百合丘高等学校）、山下 誠（神奈川県立鶴見総合高等学校）

「外国語学習の指標—フランス語の場合—」

武井 由紀（名古屋外国語大学）、野沢 督（慶應義塾大学）、菅沼 浩子（聖母被昇天学院中等高等学校）、中野 茂（早稲田大学高等学院）、茂木 良治（南山大学）、山田 仁（アシエット・ジャポン）、古石 篤子（慶應義塾大学名誉教授）

「日本の韓国朝鮮語教育と韓国の日本語教育の連携による交流学习の可能性」

澤邊 裕子（宮城学院女子大学）

「言語学習を通じた人間形成—高校における言語教育のあり方—」

金丸 巧（関東国際高等学校）、北山 夏季（関東国際高等学校）

◇休憩 15：15～15：30

◆15:30~17:00

**パネルディスカッション 102 教室**

**「大学入試における外国語検定試験**

**(ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語) の活用をめぐって」**

司会進行：神谷 善弘 (大阪学院大学)

趣旨説明：山崎 吉朗 (JACTFL 理事長)

パネリスト

ドイツ語： 清野 智昭 (千葉大学国際教養学部・日本独文学会理事)

フランス語： 小山 翼 (フランス語教育振興協会事務局長)

中国語： 木檜 望 (日本中国語検定協会検定部長)

韓国語： 李 定喜 (韓国キョンヒ大学国際教育院副院長)

◆17:00~17:30

**総括コメント：** 臼山 利信 (JACTFL 理事/筑波大学)

**閉会・挨拶：** 吉田 研作 (JACTFL 副理事長/上智大学)